

生涯学習・社会教育関係職員研修講座

「第2回センター研修」

7月28日(水)県総合社会教育センター 受講者23名

この事業は、「生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上のため、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修を行うとともに、地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得、及び人財育成を目的とした研修を行い、ネットワーク形成を図る」ことをねらいとしております。「センター研修」は全4回で構成されており、生涯学習・社会教育における普遍的また今日的課題について学ぶ研修講座です。

第2回となる本講座では、午前部として「青森県社会教育行政の取り組みとその成果について」と題し、県生涯学習課職員と当センター職員がそれぞれ事例報告を行いました。

また、午後部では、Mr. マサックこと工藤貴正氏に講義・演習をしていただきました。

1 事例発表「青森県社会教育行政の取り組みとその成果について」

発表者 県生涯学習課職員・当センター職員

事例発表は2部構成で行いました。

前半は県生涯学習課職員より、県が取り組んでいる社会教育行政の取組の具体例として、「『地域のお宝』を学び地域活動を担う高校生育成事業」を取り上げ、説明がありました。

この事業は、「地域への愛着と誇りをもって地域活動に参加し、地域の魅力を発信できる高校生を育成することを目的とし、自然・史跡・食・伝統芸能などの地域資源の魅力を、学びと体験を通じて再認識し、それらに関連付けて紹介する『地域のお宝物語』の企画・実践を行う」というものです。

事業の実施にあたっては、当該市町村に実行委員会を立ち上げたことから、その協力体制構築には様々な方の力添えがあつてできたことや、活動の成果として、高校生たちより自分の住む地域の良さを知ることができたといった声が上がったことなど、地域活動を通じた人財活用の事業の好例として紹介していただきました。



後半は当センター職員より「家庭教育支援に係わる社会教育センターの取り組み」について説明をしました。

家庭教育支援の充実のための実態等把握調査から見える青森県の状況、課題や今後の展望について、考察したものを発表しました。また、当センターが実施している家庭教育支援事業として、「あおり家庭教育アドバイザー養成講座」や「あおり子育てネット」などを紹介しました。実際に子育て支援動画の

視聴もしながら、具体的に学んでいただきました。

(受講者の感想) 午前部

- ・とても興味深い内容でした。県企画の事業を受け、市町村でも実施できるようになって、初めて成功したと言えると思います。実際に関わった方々には本当に頭が下がります。
- ・県の事業や成果について、現在勤務している地域にも似たようなものがあればいいなと思いました。現状やアンケートの結果を参考にできそうなことは機会があれば提言してみたいと思います。

2 講義・演習 『楽しい』講座を考える

講師 Mr.マサックこと くどう たかまさ 工藤 貴正 氏

マサックさんのご活躍については、講演やテレビ出演などでもご存じの方も多いことでしょう。受賞歴も多く、平成29年度には県内で初となる文部科学大臣表彰 科学技術賞 理解増進部門を受賞されています。

今回は、そんなマサックさんに、『楽しい』講座を考える」というテーマで、ご講演いただきました。



楽しい講座とは…

- ①「楽しく・分かる」ことが大切。「難しく・分からない」では誰も参加したくない。講師は伝えるスキルと話術が必要。
- ②活用できるお土産を準備する。参加してよかったという余韻を残す。

生涯学習・社会教育の課題として、受講者がなかなか集まらない、ということがよく挙げられます。有識者からは「学ぶ喜びを味わせることが大事である」、「楽しいという実感が継続性を保つ」等の指摘がありますが、どのような講座が楽しいものとなるか、知的な楽しさとは何かを、マサックさんに語っていただいたのが今回です。



実際、マサックさんの講義・演習は、常に会場に笑いがありました。ユーモア溢れるトークと受講者を夢中にさせる科学実験を次から次へで行い、受講者を惹き付けていました。

そんなマサックさんが大事だと考えているのが、上記のポイントです。併せて、「技術は教えることができる。しかし、センスは自分で磨かないといけない。」とお話しされるなど、「楽しい講座」にするためのヒントをたくさんいただきました。

(受講者の感想) 午後の部

- ・マサックさんの講座は本当に素晴らしかったです。視点を変えて、物事を見ることにより、また科学する心で見方、考え方を少し変えることで、新しい発見が見えてくるのが分かりました。どうもありがとうございました。
- ・社会教育に限らず、全てのことに繋がる話術、楽しく分かるように伝えることの大切さを実験などを通じ体験することができ、今後につなげたいと思いました。子どもの頃のようになぜ？どうして？という疑問を大切に、それを種にして新しい芽を育てていけたらいいなと感じました。
- ・マサックさんからは、楽しく学ぶことを改めて考えさせられました。出席する側のことも考えた話し方、見せ方、物のお土産もいいですし、心に残るお土産もいただいた内容でした。職場に戻れば、見せる側、聞かせる側になるので参考にしたいと思いました。ありがとうございました。